

最終更新日:2016年8月25日

株式会社ユーシン

代表取締役会長兼社長 田邊 耕二

問合せ先:管理本部 TEL:03-5401-4670

証券コード:6985

<http://www.u-shin.co.jp>

当社のコーポレート・ガバナンスの状況は以下のとおりです。

I コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及び資本構成、企業属性その他の基本情報

1. 基本的な考え方

当社グループは、健全な経営の推進と社会的信頼に十分に應えるために、コーポレート・ガバナンスを重要な経営課題と位置づけております。このため、諸関連法規の遵守並びに経営組織の迅速な意思決定と透明性を確保し、迅速、公平かつ明瞭なディスクロージャーの充実を目指します。

【コーポレートガバナンス・コードの各原則を実施しない理由】更新

【補充原則4-11-3:取締役会の実効性評価】

当社では取締役会全体の実効性について、定期的な分析・評価は実施しておりません。もともと、当社はこれまでも必要に応じて取締役会における課題の把握のために取締役への個別ヒアリングを行ってきました。加えて、各監査役は、取締役会への出席、その他重要な会議の情報を収集し、会社の業務および財産の状況に関する調査等を通じて、取締役会全体の実効性について監視・監督、検証を行っています。

今後は取締役会全体の実効性向上のため、各取締役の自己評価等を参考にしつつ、取締役会が、取締役会全体の実効性についての定期的な分析・評価を行い、その結果の概要を開示することを検討していきます。

【コーポレートガバナンス・コードの各原則に基づく開示】更新

【原則1-4:いわゆる政策保有株式】

1. 政策保有方針

当社では、取引先その他当社の持続的成長に基づく企業価値の向上に資すると認められる相手先との関係を維持及び強化することにより、当社の持続的成長に基づく企業価値の向上を図ることを目的として、当該相手先の株式を保有することがあります。

2. 保有意義・合理性検証

当社では、取引先その他当社の持続的成長に基づく企業価値の向上に資すると認められる相手先との関係の維持及び強化について、当社の持続的成長に基づく企業価値の向上を図る目的と当該株式の保有のリスクを勘案した上で、資本の効率性、相手先の成長性、当該株式保有による収益性等の要素を考慮し、中長期的な経済合理性を検証しております。

3. 議決権行使

当社は、当社の持続的成長に基づく企業価値の向上という株式保有の目的及び投資先の企業価値向上等の観点から、個々の議案ごとに株主価値の毀損につながるものではないか等を検討の上、総合的判断により議決権を行使しております。

【原則1-7:関連当事者間の取引】

会社法に基づき、取締役及び取締役が実質的に支配する法人との競業取引及び利益相反取引は取締役会での承認事項とし、当該取締役は審議並びに決議に参加しないこととしております。また、毎年各取締役等に対し関連当事者取引の調査を実施し、開示対象となる取引がある場合は開示を行っております。

【原則3-1:情報開示の充実】

(1) 経営理念:信頼される人となり、信頼される企業となる、そして競争力のある企業となる。

経営方針:原点からのグローバルな発想―変化の激しさへ対応する―

(2) コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

本コーポレートガバナンス報告書の「1 1. 基本的な考え方」に記載しておりますので、ご覧ください。

(3) 取締役の報酬を決定するにあたっての方針と手続

本コーポレートガバナンス報告書の「2 1. 機関構成・組織運営等に係る事項」の「報酬の額又はその算定方法の決定方針の開示内容」に記載しておりますので、ご覧ください。

(4) 取締役・監査役候補の指名を行うにあたっての方針と手続

【取締役候補の指名を行うにあたっての方針と手続】

まず、取締役には、国籍や性別を問うことなく、人格及び識見に優れた人物であることを求めています。その上で、業務執行を担当する取締役については、豊富な業務上の専門知識と経験を有する人物を候補者とし、社外取締役については、豊富な経営経験のある人物や出身分野における高度な知識と経験を有する人物を候補者としております。以上を踏まえ、当社では、社外役員も出席する取締役会の審議と決議により、取締役候補者を決定しております。

【監査役候補者の指名を行うにあたっての方針と手続】

まず、社内監査役及び社外監査役ともに、国籍や性別を問うことなく、人格及び識見に優れた人物であることを求めています。その上で、社内監査役については、当社の諸事情、取引実務、業界のことなどに幅広く精通した人物を候補者とし、社外監査役については、法律や財務会計など出身分野における高度な知識を有する人物や経営全般に関する幅広い知見を有する人物を候補者としております。以上を踏まえ、当社では、監査役会の同意を経たうえで、社外役員も出席する取締役会の審議と決議により、監査役候補者を決定しております。

(5) 取締役・監査役候補の指名を行う際の、個々の選任・指名についての説明

社外役員については、個々の選任理由を本コーポレートガバナンス報告書の「2 1. 機関構成・組織運営等に係る事項」に記載しておりますので、ご覧ください。

取締役・監査役については、いずれも(4)の方針に基づき人格、識見、力量ともに優れた人物を選任しております。

【補充原則4-1-1:取締役会の役割・責務】

当社は、経営の意思決定・監督機関としての取締役会と、その意思決定に基づく業務執行体制としての経営会議、各事業分野毎の最高執行責任者・会議体を設け、経営の意思決定と業務執行の分離の確立を図っています。

取締役会は、法令及び定款等の内規に定められた事項、当社及びグループ会社の重要事項等を決定しています。

経営会議は、代表取締役が議長となり、各事業分野の最高執行責任者で構成され、取締役会で決定された方針の具体化や複数の事業分野にま

たがる課題の対策を協議しています。経営会議の結果は、各取締役・監査役に報告され、現場の具体的な課題・問題を迅速に察知・対応できる仕組みとしています。

【原則4-8:独立社外取締役の有効な活用】
当社では、会社法に定める社外取締役の要件及び東京証券取引所が定める独立性基準の要件を満たす独立社外取締役を2名選任しており、取締役会における独立した中立な立場での意見を踏まえた議論を可能にしています。

【原則4-9:独立社外取締役の独立性判断基準及び資質】
会社法に定める社外取締役の要件及び東京証券取引所が定める独立性基準に従い、独立役員である社外取締役を2名選任しております。

【補充原則4-11-1:取締役会のバランス、多様性及び規模に関する考え方】
当社の取締役会は、取締役が10～14名、監査役は3～4名の規模で構成しており、性別、国籍、年齢を問わず優秀な人材を積極的に登用し、ダイバーシティーを促進しております。社外取締役は2名とすることを基本的な考え方としています。取締役は、取締役同士の相互評価結果に基づき、取締役会においてその適性を評価しております。社外取締役及び社外監査役は、性別を問わず、社外役員の独立性基準に基づき選任を行っています。また、社外取締役は、コーポレートファイナンス、コンプライアンス、リスクマネジメント、リーガル等の多様な専門性を、社外監査役は公認会計士、税理士、弁護士等の高い専門性を有する人材を選任するなどして、事業の競争力を伸ばしながら、健全で持続可能な成長が図れるよう、監督的立場である社外役員の知識・経験のバランスには十分配慮しています。現在は取締役会出席者14人中4名が、当社が定めた独立性基準を満たす独立社外役員（社外取締役2名、社外監査役2名）であり、取締役会において独立した中立な立場からの意見を踏まえた議論が可能となっています。

【補充原則4-11-2:取締役・監査役の他の上場会社の役員との兼務状況】
社外取締役及び社外監査役の他社での兼任状況は、株主総会招集通知、有価証券報告書及びコーポレートガバナンスに関する報告書等を通じ、毎年開示を行っています。
社外取締役2名及び社外監査役2名全員は、当社グループ以外の他の上場会社の社外役員を兼任していません。また、常勤監査役は他社の役員は兼任しておらず、監査役の業務に常時専念できる体制となっています。

【補充原則4-14-2:取締役・監査役のトレーニング】
当社は、「信頼される人となり、信頼される企業となる、そして競争力のある企業となる。」という当社の経営理念に実現に資するよう、取締役と監査役に対し、就任時及び適宜の機会に研修や講習会を実施しております。また、監査役は、必要な知識の習得及び技術の向上のため、社外研修行事にも参加しております。

【原則5-1:株主との建設的な対話に関する方針】
当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するため、株主との建設的な対話を行い、自らの経営方針を分かりやすく説明するよう努めております。
・当社は、代表取締役を中心に、管理本部及び経理財務本部をIR担当部署として定め、IR関連部署間で定期的にミーティングを行い、また日常的に連携を取り、情報共有に努めております。
・電話取材やIR取材を受けた場合は、IR担当機能を持った部署で受け付けております。
・対話を通して得た株主、投資家の皆様のご意見等については、必要に応じ、経営陣及び関連部署に報告しております。
・公平かつ透明性のある情報開示に努め、またインサイダー情報の漏えい防止を徹底しております。

2. 資本構成

外国人株式保有比率	10%以上20%未満
-----------	------------

【大株主の状況】更新

氏名又は名称	所有株式数(株)	割合(%)
ROYAL BANK OF CANADA TRUST COMPANY (CAYMAN) LIMITED	1,347,800	4.86
PHILLIP SECURITIES CLIENTS (RETAIL)	1,068,500	3.85
株式会社横河ブリッジホールディングス	966,200	3.40
株式会社三井住友銀行	932,641	3.36
富士ソフト株式会社	869,100	3.13
久光製薬株式会社	791,000	2.85
明治安田生命保険相互会社	749,600	2.70
株式会社ブロードリーフ	700,000	2.52
株式会社三菱東京UFJ銀行	665,000	2.40
株式会社クボタ	623,000	2.24

支配株主（親会社を除く）の有無	——
親会社の有無	なし

補足説明更新

【大株主の状況】
(1) 上記のほか、自己株式が671,747株あります。
(2) 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループから、2015年6月29日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、2015年6月22日現在で株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として期末時点における実質所有株式数の確認が

できませんので、上記大株主の状況は株主名簿上の所有株式数に基づき記載しております。

(3) ウェセックス・リミテッドから、2015年11月24日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、2015年11月20日現在で株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として期末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況は株主名簿上の所有株式数に基づき記載しております。

(4) UBS証券株式会社から、2015年12月28日付で公衆の縦覧に供されている訂正報告書(変更報告書)において、2015年12月21日現在で株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として期末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況は株主名簿上の所有株式数に基づき記載しております。

3. 企業属性

上場取引所及び市場区分	東京 第一部
決算期	11 月
業種	電気機器
直前事業年度末における(連結)従業員数	1000人以上
直前事業年度における(連結)売上高	1000億円以上1兆円未満
直前事業年度末における連結子会社数	10社以上50社未満

4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針

――

5. その他コーポレート・ガバナンスに重要な影響を与えうる特別な事情

――

Ⅱ 経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況

1. 機関構成・組織運営等に係る事項

組織形態	監査役設置会社
------	---------

【取締役関係】

定款上の取締役の員数	20 名
定款上の取締役の任期	1 年
取締役会の議長	社長
取締役の人数	11 名
社外取締役の選任状況	選任している
社外取締役の人数	2 名
社外取締役のうち独立役員に指定されている人数	2 名

会社との関係(1)

氏名	属性	会社との関係(※)										
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
佐藤 龍平	他の会社の出身者											
ダグラス・K・フリーマン	他の会社の出身者											

※ 会社との関係についての選択項目

※ 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」

※ 近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」

a 上場会社又はその子会社の業務執行者

b 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役

c 上場会社の兄弟会社の業務執行者

d 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者

e 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者

f 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家

g 上場会社の主要株主(当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者)

h 上場会社の取引先(d、e及びfのいずれにも該当しないもの)の業務執行者(本人のみ)

i 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者(本人のみ)

j 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者(本人のみ)

k その他

会社との関係(2)

氏名	独立役員	適合項目に関する補足説明	選任の理由
佐藤 龍平	○	——	佐藤龍平氏は、海外での豊富な経営経験の実績があり、当社とは利害関係のない見地から適切な指導をいただけるものと判断し、社外取締役に選任しております。 また、同氏は、取引所が規定する独立性に関する判断基準に抵触せず、一般株主と利益相反が生じるおそれがないことから独立役員に指定しております。
ダグラス・K・フリーマン	○	——	ダグラス・K・フリーマン氏は、国際的な弁護士としての豊富な知識と経験を有しており、当社とは利害関係のない見地から適切な指導をいただけるものと判断し、社外取締役に選任しております。 また、同氏は、取引所が規定する独立性に関する判断基準に抵触せず、一般株主と利益相反が生じるおそれがないことから独立役員に指定しております。

指名委員会又は報酬委員会に相当する 任意の委員会の有無	なし
--------------------------------	----

【監査役関係】

監査役会の設置の有無	設置している
定款上の監査役の員数	5 名
監査役の人数	3 名

監査役、会計監査人、内部監査部門の連携状況

監査役、会計監査人、内部監査部門は、必要の都度相互の情報交換・意見交換を行うなどの連携を密にして、監査の実効性と効率性の向上を目指しております。

社外監査役の選任状況	選任している
社外監査役の人数	2 名
社外監査役のうち独立役員に指定されている人数	2 名

会社との関係(1)

氏名	属性	会社との関係(※)												
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
齊藤 昌英	公認会計士													
古川 眞理	税理士													

- ※ 会社との関係についての選択項目
- ※ 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」
- ※ 近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」
- a 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与
- c 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d 上場会社の親会社の監査役
- e 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i 上場会社の主要株主(当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者)
- j 上場会社の取引先(f、g及びhのいずれにも該当しないもの)の業務執行者(本人のみ)
- k 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者(本人のみ)
- l 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者(本人のみ)
- m その他

会社との関係(2)

氏名	独立役員	適合項目に関する補足説明	選任の理由
齊藤 昌英	○	――	齊藤昌英氏は、公認会計士として企業財務に精通され、企業経営を統括する十分な見識を有しておられることから、当社とは利害関係のない見地から適切な指導をいただけると判断し、社外監査役に選任しております。 また、同氏は、取引所が規定する独立性に関する判断基準に抵触せず、一般株主と利益相反が生じるおそれがないことから独立役員に指定しております。
古川 眞理	○	――	古川眞理氏は、税理士として企業財務に精通され、企業経営を統括する十分な見識を有しておられることから、当社とは利害関係のない見地から適切な指導をいただけると判断し、社外監査役に選任しております。

		また、同氏は、取引所が規定する独立性に関する判断基準に抵触せず、一般株主と利益相反が生じるおそれがないことから独立役員に指定しております。
--	--	---

【独立役員関係】

独立役員の人数	4名
---------	----

その他独立役員に関する事項

【インセンティブ関係】

取締役へのインセンティブ付与に関する施策の実施状況	実施していない
---------------------------	---------

該当項目に関する補足説明

当社の経営方針として実施しておりません。

ストックオプションの付与対象者	
-----------------	--

該当項目に関する補足説明

【取締役報酬関係】

(個別の取締役報酬の)開示状況	一部のものだけ個別開示
-----------------	-------------

該当項目に関する補足説明

取締役及び監査役の報酬等の総額は、事業報告及び有価証券報告書において開示しております。

【第114期実績】 ※役員報酬の返上分を含む
 ・取締役(社外取締役を除く) 1,037百万円
 ・監査役(社外監査役を除く) 9百万円
 ・社外役員 26百万円

報酬等の総額が1億円以上を超える者につきましては、有価証券報告書において個別開示を行っております。

報酬の額又はその算定方法の決定方針の有無	あり
----------------------	----

報酬の額又はその算定方法の決定方針の開示内容

取締役の報酬については、株主総会の決議によって決定した取締役の報酬総額の限度額内において、会社業績等を勘案し、貢献度に見合った報酬を取締役会で決定しております。

【社外取締役(社外監査役)のサポート体制】

社外取締役及び社外監査役に対しては、管理部門が必要な都度、経営に関わる必要な書類の提供等を行う体制をとっております。

2. 業務執行、監査・監督、指名、報酬決定等の機能に係る事項(現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要)

当社の取締役会は、取締役11名(うち社外取締役2名)で構成されております。定例会を原則月1回開催するほか、必要に応じ随時開催し、当社グループに掛かる基本方針並びに重要な決定事項について審議、決定しております。

当社の監査役会は、監査役3名(うち社外監査役2名)で構成されております。定例会を毎週開催して情報の共有を図るとともに、必要に応じ随時監査役会を開催し、監査計画に基づき当社グループの監査を実施しています。また、原則として全監査役が毎回取締役会に出席することとしており、取締役の職務執行を監督しております。

内部監査につきましては、独立した組織として内部監査室を設置し、当社グループ全体を対象とした業務監査を実施しております。

会計監査につきましては、会社法及び金融商品取引法に基づく会計監査人として有限責任監査法人トーマツと契約を締結し、会計監査を受けております。会計監査人とは、監査計画及び監査結果等について説明、報告を受けるなど、連携を図っております。

3. 現状のコーポレート・ガバナンス体制を選択している理由

当社は、経営意思伝達の簡素化、迅速な業務執行の推進、経営の透明性の向上を図るため、現状のコーポレート・ガバナンス体制を選択しております。

さらに社外取締役2名を選任し、取締役会に対して的確な提言を行い、監督機能を発揮しております。

また、監査役会は3名のうち2名が社外監査役であり、実効性をもって適正な監視を行っております。

Ⅲ株主その他の利害関係者に関する施策の実施状況

1. 株主総会の活性化及び議決権行使の円滑化に向けての取組み状況

	補足説明
株主総会招集通知の早期発送	株主総会招集通知の早期発送に努めております。
電磁的方法による議決権の行使	個人投資家並びに機関投資家の利便性向上を図るため、議決権行使のIT化を実施しております。
議決権電子行使プラットフォームへの参加 その他機関投資家の議決権行使環境向上に向けた取組み	ICJが運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームに参加しております。
その他	株主総会招集通知をカラー化及び大判化し、株主の皆様がスムーズに理解、判断いただけるよう工夫しております。

2. IRに関する活動状況 更新

	補足説明	代表者自身による説明の有無
IR資料のホームページ掲載	当社ホームページに、決算短信、有価証券報告書、報告書、株主総会資料、適時開示資料等を掲載しております。	
IRに関する部署(担当者)の設置	経理財務本部財務部、管理本部総務部	

3. ステークホルダーの立場の尊重に係る取組み状況

	補足説明
社内規程等によりステークホルダーの立場の尊重について規定	「コンプライアンスマニュアル」内に「ユーシン行動規範」を設け、規定しております。 また、当社の持続的発展のためには、多様な人材の活用及び登用が今後ますます重要になると捉えており、女性の積極的な登用を進めるほか、女性が家庭生活と両立して働きやすい職場環境づくりにも取り組んでおります。
環境保全活動、CSR活動等の実施	環境保全活動としてISO14001を広島工場、東京測定器材株式会社及びU-SHIN EUROPE LTD.等が認証取得しております。

Ⅳ内部統制システム等に関する事項

1. 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

当社の内部統制システムの基本方針は、以下のとおりであります。

- (1) 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
 - ・ 当社は「ユーシン行動規範」を当社グループの行動規範として定め、周知徹底します。
 - ・ 当社は、企業活動の公正性、透明性を高め、社会的責任を果たすために、コンプライアンス・リスク管理委員会を設置し、体制の整備強化に努めます。
 - ・ コンプライアンス違反行為が発覚し、又は行われようとしていることが分かった場合には、速やかに報告しなければならないこととし、匿名の通報者に不利益がないことを確保します。
 - ・ 社外取締役及び社外監査役を選任することにより、取締役の職務執行の監督機能の維持・向上を図ります。
- (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
法令及び社内規程に基づき、取締役の職務執行に係る情報を適切に記録・保存・管理し、必要な関係者が閲覧できる体制を整備します。
- (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
経営に重大な影響を及ぼすリスクを総合的に認識し、評価できる仕組みを整備するとともに、リスク管理に関連する規程も整備し、有事に対する事前予防体制を整備します。
- (4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
当社は、取締役会を毎月適宜開催し、重要事項の決定、取締役の業務執行状況の監督等を行います。
- (5) 当社グループにおける業務の適正を確保するための体制
 - ・ 当社は、子会社の経営の重要事項に関しては当社の事前承認または当社への報告を義務付けます。
 - ・ 当社グループのリスク管理を担当する機関として、コンプライアンス・リスク管理委員会がグループ全体のリスク管理を統括・推進します。
 - ・ 当社は事業年度ごとのグループ全体の経営目標及び予算配分等を定めます。
 - ・ 当社は、当社グループ各社にコンプライアンス担当者を置き、コンプライアンス・リスク管理委員会がグループ全体を統括・推進します。
 - ・ 監査役及び内部監査室は、当社グループの監視・監査を実効的かつ適正に行います。
 - ・ 財務報告の適正性を確実にするために、当社グループの規程やシステムを整備します。
- (6) 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項
取締役は、監査役の求めにより、監査役の職務を補助する使用人として適切な人材を配置します。
- (7) 監査役の職務を補助する使用人の取締役からの独立性に関する事項、当該使用人に対する指示の実行性の確保に関する事項
監査役を補助する使用人の適切な職務の遂行のため、人事考課は監査役が行い、人事異動は監査役と取締役が協議します。
当該使用人が、他部署の使用人を兼務する場合は、監査役に係る業務を優先して従事します。
- (8) 当社及び子会社の取締役及び使用人等が監査役に報告するための体制、報告したことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
当社及び子会社の取締役及び使用人は、会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見したときは、直ちに監査役に報告します。
当社は、当社及び子会社の監査役へ報告を行った当社及び子会社の取締役及び使用人に対し、当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを行うことを禁止します。
- (9) 監査役が、その職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
監査役が、その職務の執行について生ずる費用の前払い又は償還等の請求をしたときは、当該監査役の職務の執行に必要でないと認められた場合を除き、速やかに当該費用または債務を処理します。
- (10) その他監査役が実効的に行われることを確保するための体制
監査役は、会計監査人、内部監査部門と情報交換に努め、連携して当社及びグループ各社の監査の実効性を確保するものとします。

2. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況

反社会的勢力に対しては、「ユーシン行動規範」に「賄賂と金品の強要を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組めます。」と定め、弁護士、警察等とも連携し組織的に対応します。
また、契約書にも暴力団排除条項を盛り込むようにしています。

Vその他

1. 買収防衛策の導入の有無

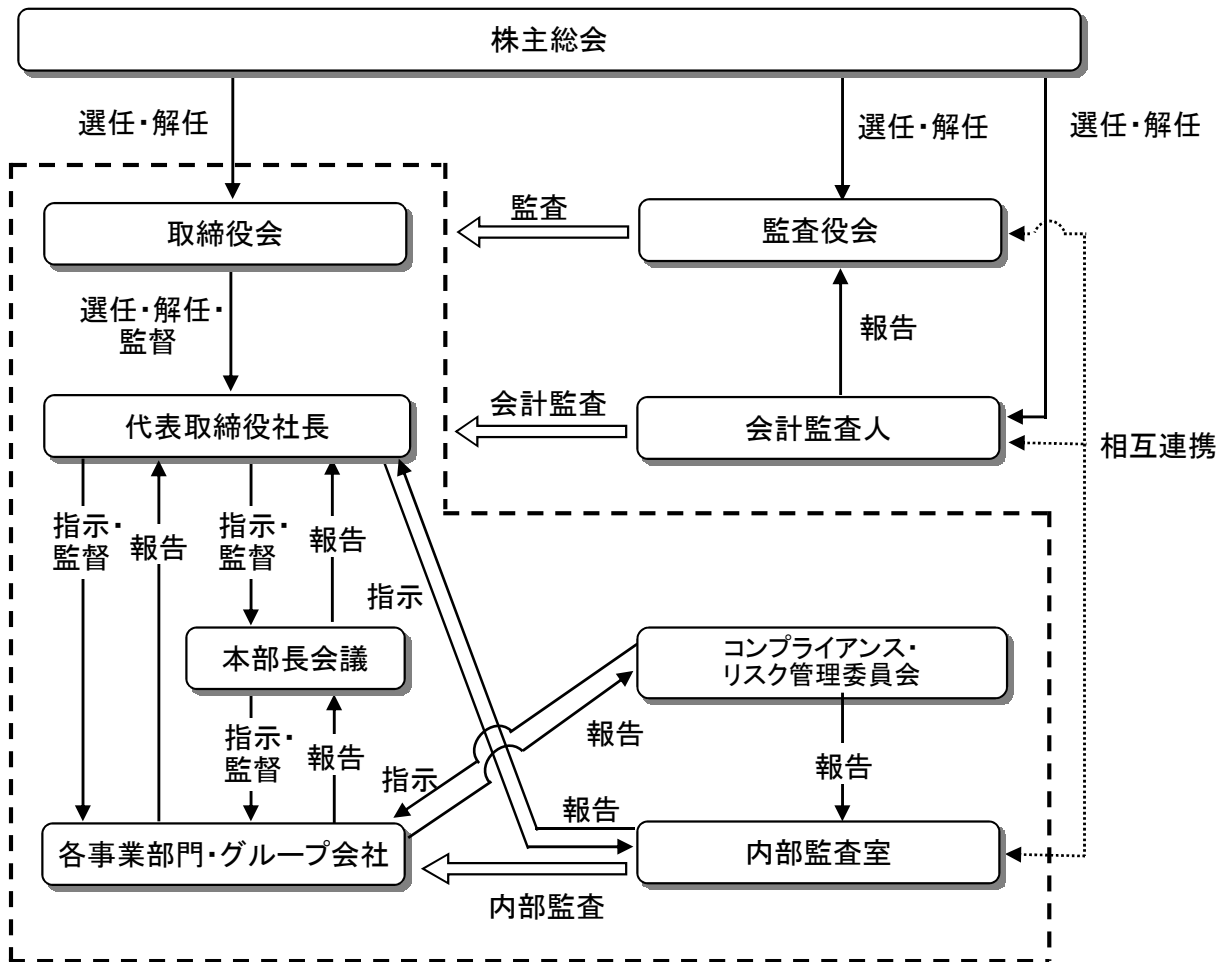
買収防衛策の導入の有無	なし
-------------	----

該当項目に関する補足説明

2. その他コーポレート・ガバナンス体制等に関する事項

模式図参照

コーポレート・ガバナンス体制



適時開示に係る体制

